

“人生において必ずおとずれるもの、それは死と税金である”という格言が昔からある。しかし、もう一つ、私たちが直面しなければならないものがある。それは、“変化”だ。毎朝、東から太陽が昇るように、新しい一日は、否が応でも私たちに何らかの変化をもたらす。

新型コロナウイルスのパンデミックは、もちろん大きな変化をもたらした。最近では、ウイルスの再流行や社会的な規制の強化などにより、他の健康面での大きな問題が起きつつあるのではないとも言われている。

しかし、私たちの生活に大きな変化をもたらしているのは、健康や医療に関する問題だけではない。経済情勢は、国内外を問わずかつてないほど不安定な状況にあり、その結果、ビジネスと私生活の両方において、意思決定がより複雑になっているのだ。さらに、いまやテクノロジーは絶え間ない変化の源泉ともなっており、この21世紀の市場で競争力を維持するためには、柔軟性と適応力を身につけることが必要とされている。このように、私たちが好むと好まざるとにかかわらず、変化は常に付きまとうものなのだ。

では、私たちはどのように対応すればよいのだろうか？わたしが好きなリーダーシップ・コンサルタントであり作家でもあるティム・カイト氏は、こう述べている。“変化は、しばしば不快で不便でもあります。脅威ではありません。変化は、あなたご自身を他と差別化する機会を与えてくれます。多くの人が変化を好まないからと言って、多くの人と同じになってはいけません。変化をもたらすチャンスを訓練と思い、ステップアップすることです。”

これは名言ではないだろうか？他の誰しもが変化に抵抗し、苦悩しているように見える中、私たちには変化を受け入れるという選択肢があり、変化支持者として自身をユニークに位置づけることができるのだ。とはいえ、これを言葉で口に出すのは簡単だが、実践することは難しい。どのようにこの考えを実践できるか—、わたしは、神への信仰が、これを可能とする大きな財産となり得るのではないかと考えている。共に、変化について聖書がどう教えているか、読みとってみよう。

神は変化しない。変化という流れに対応するためには、安定した源、つまり、私たちを遠くまで漂流させないための錨を見つけることが有効である。聖書は、神こそが錨であり、変化し続ける世界の中で、不変の存在であるとも教えている。「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。」(ヘブル13:8)。「私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン。」(ユダ1:25)。

不変の神が、常に変化する未来を握っておられる。予期しない、あるいは望まない変化が訪れたとしても、その変化の結果がすでに決定されていると信頼できるだろうか？神への信仰が、私たちにこの保証を与えてくれる。主は、「わたしはあなたがたのために立てている計画を知っている」と宣言している。「わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。」(エレミヤ 33:3)。

神はいつも私たちと共におられる。慣れない土地を旅するとき、目的地に到達するための道を知っているガイドがいれば、助かるものだ。「たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませぬ。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。」(詩篇 23:4)。「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」(イザヤ書 41:10)。

【適用】

- あなたがこの1年間で直面した最大の変化は何でしたか？ 難しいことでしょうか？
 - それらの変化にどのように対応しましたか？冷静に対応し、生産的に取り組むことができましたか？あなたの答えをご説明ください。
 - なぜ多くの人が変化に否定的に反応すると思いますか？他の人が変化を抵抗すべき問題としか捉えない中で、変化をチャンスと捉え、前向きに対応することは、どれほど
 - 神への信仰と信頼が、“変化への対応の仕方”に意味ある違いをもたらすと思いますか？なぜそう思いますか？又は思いませんか？そう思う場合、その信仰を実行に移すには、どのような実用的な方法があるでしょうか？
- 【参考聖書箇所】詩篇 37:3-7；箴言 3:5-6, 14:4, 16:4, 9, 20:24；伝道の書 3:1-8；ヨハネ 14:27